

しあわせのかたち

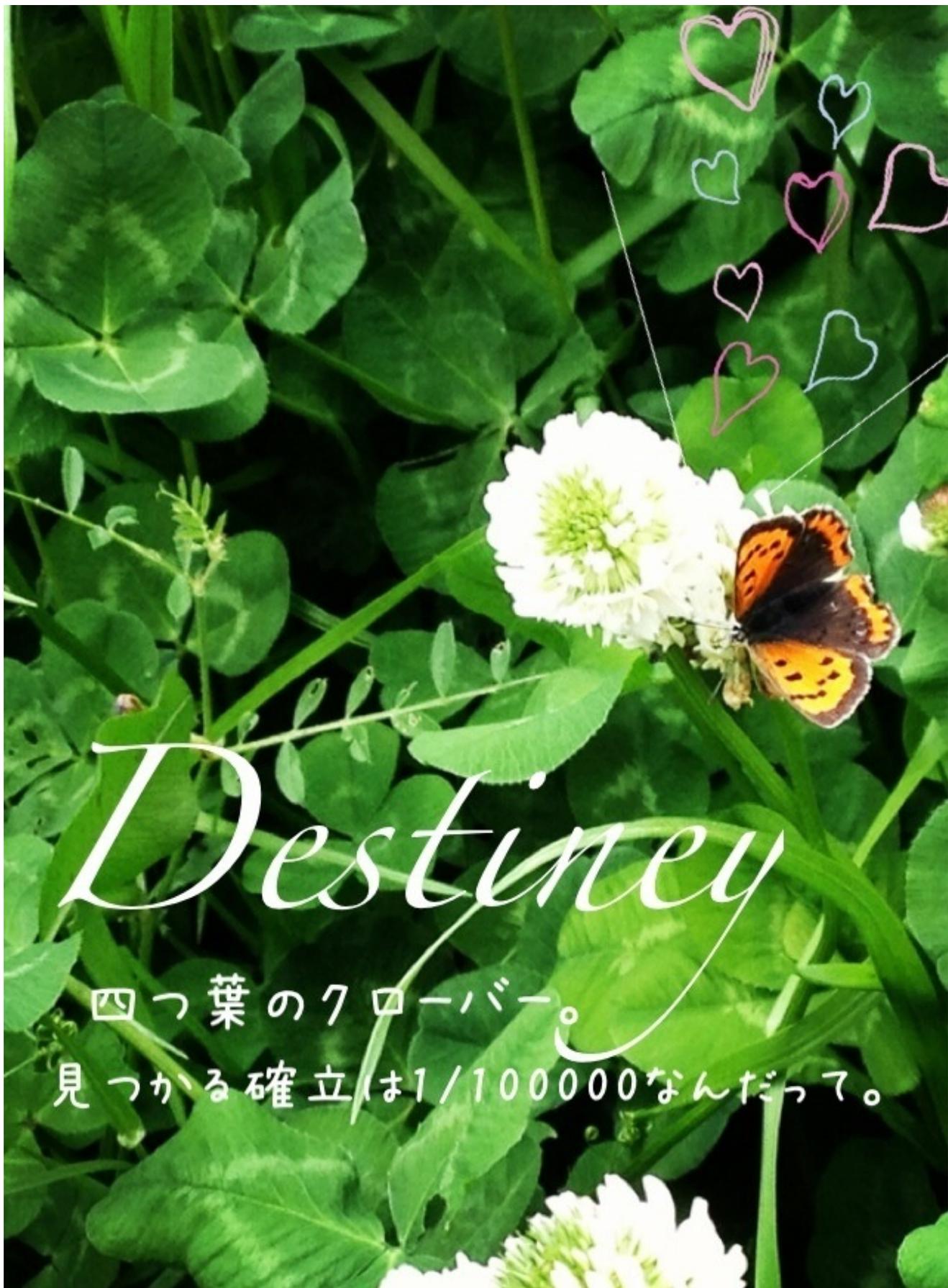


tanayumi



「うつくしいもの」が見えないときがあった。
それはわたしが目を閉じているだけで

いつも変わらず、世界は輝いている。



全ての出会いは「奇跡」

Freedom

ひとりでは知る事のなかった
あたらしい世界を教えてくれた。

2人でのいることは
1人でのいること以上に自由でした。

Dewey We

お互いに譲り合うことも我慢することもある。
だけど、二人だから出来る事の方がずっとおおい。

Love

こころのコップにたまった愛情を
だれか大切なひとに分け与えることで
ひとはもっと幸せになれる。



だれよりもそばにいて。
だれよりもたくさん話した。
だれよりもあなたのことしててるよ。
この2年間。プライスレス。





BRIGHTON
jewelers

わたしが足を止めると
あなたはいつも待っていてくれる。

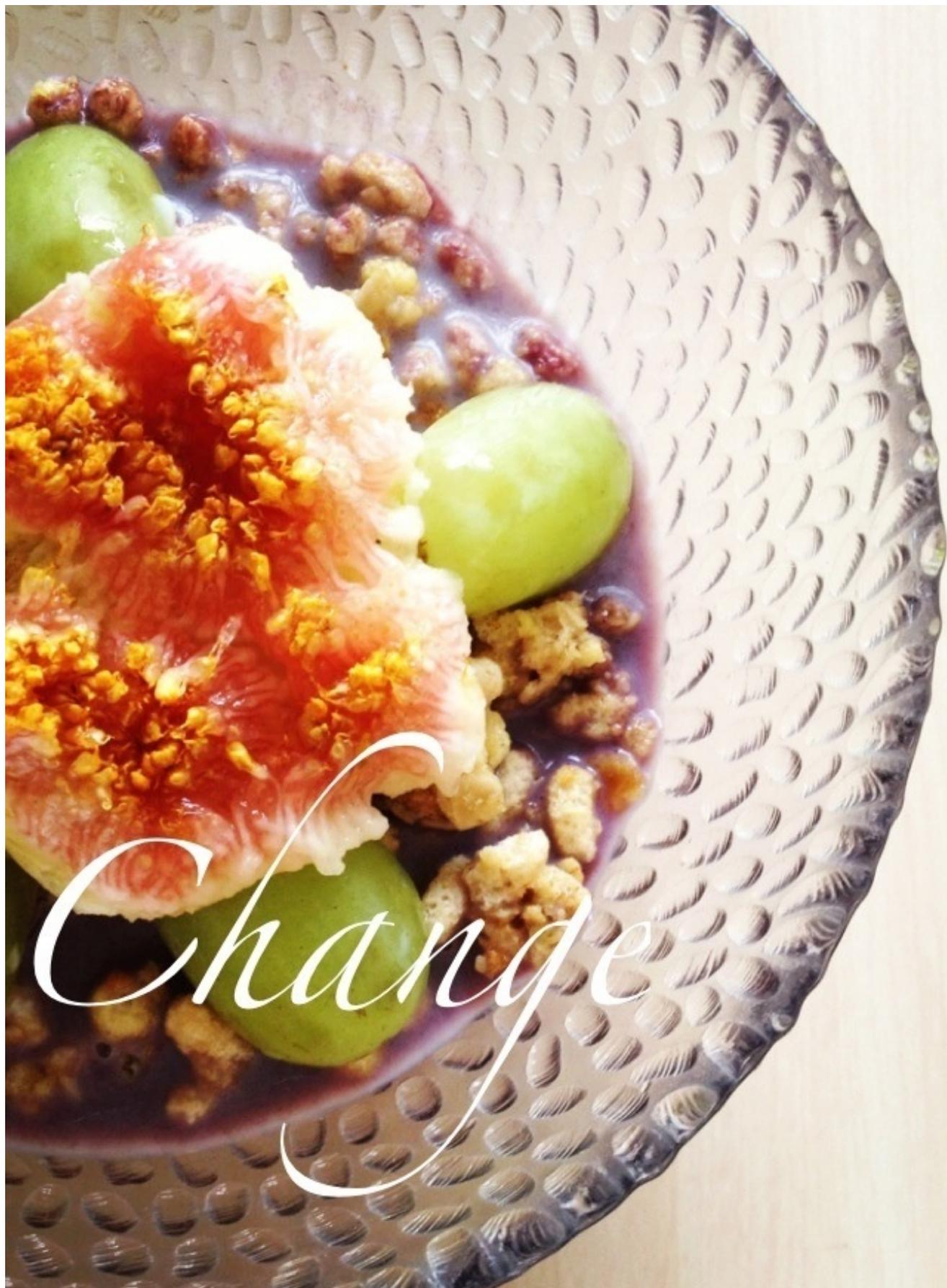
あなたが立ち止まるときは
わたしは手を引いて

前にすすむ、ちからになる！

にねん前にそう決めました。



「やらなくちゃいけないこと」をして死ぬなら
「やりたいこと」をやって死のう。
どうせ人は死ぬんだから。



10代のじぶん。
20代前半のじぶん。

20代後半のじぶん。

いらないものを切り捨てて
欲しいものを手にしてきたから
いまの自分が一番好きだ。



子供のころは、「制限」でしかなかった「家」が
大人になると「やすらぎ」にかわる。
そんな不思議。



信頼って崩すのは簡単。
積み直すのは難しい。

そうやって結び直した絆は
ほどける前よりずっと強くなる。

Trust 



相手に望むよりも。
自分に何ができるか。だね。

「やってほしい」って思うと苦しい。
「やってあげたい」って思うのは、シアワセだ。



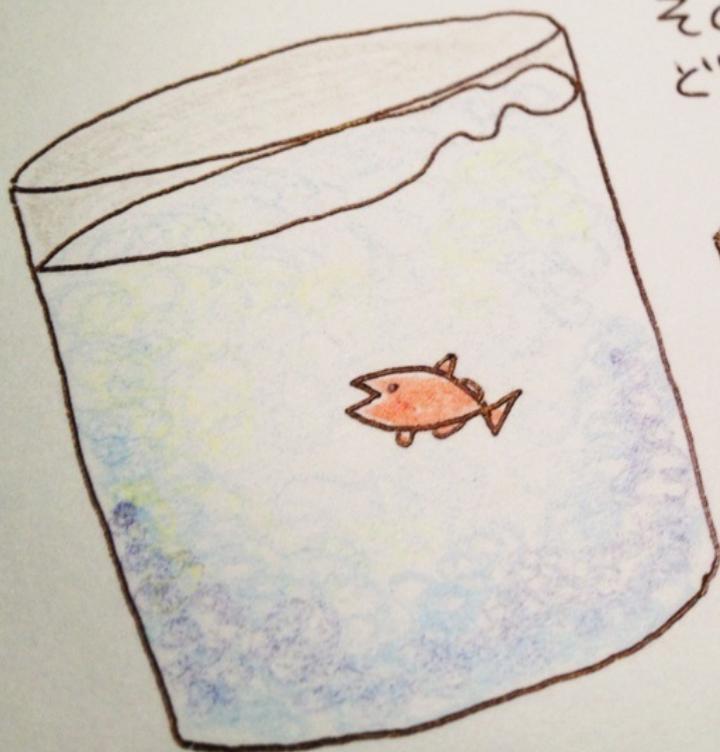
「シアワセにしてあげたい」って思ってくれることが
既にシアワセだったりする。

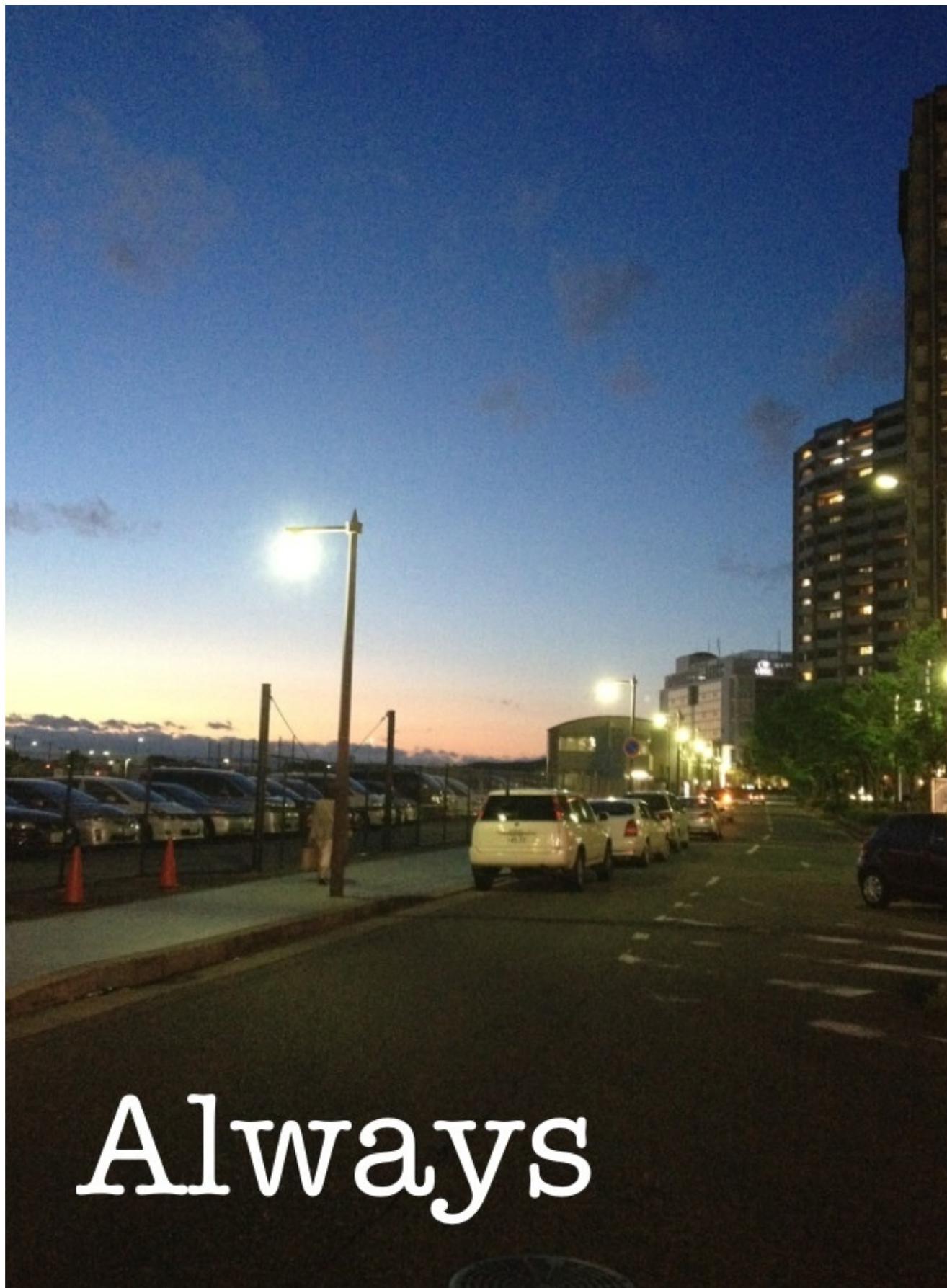


「花は咲く一瞬を惜しまない」
って誰か言ってたな。

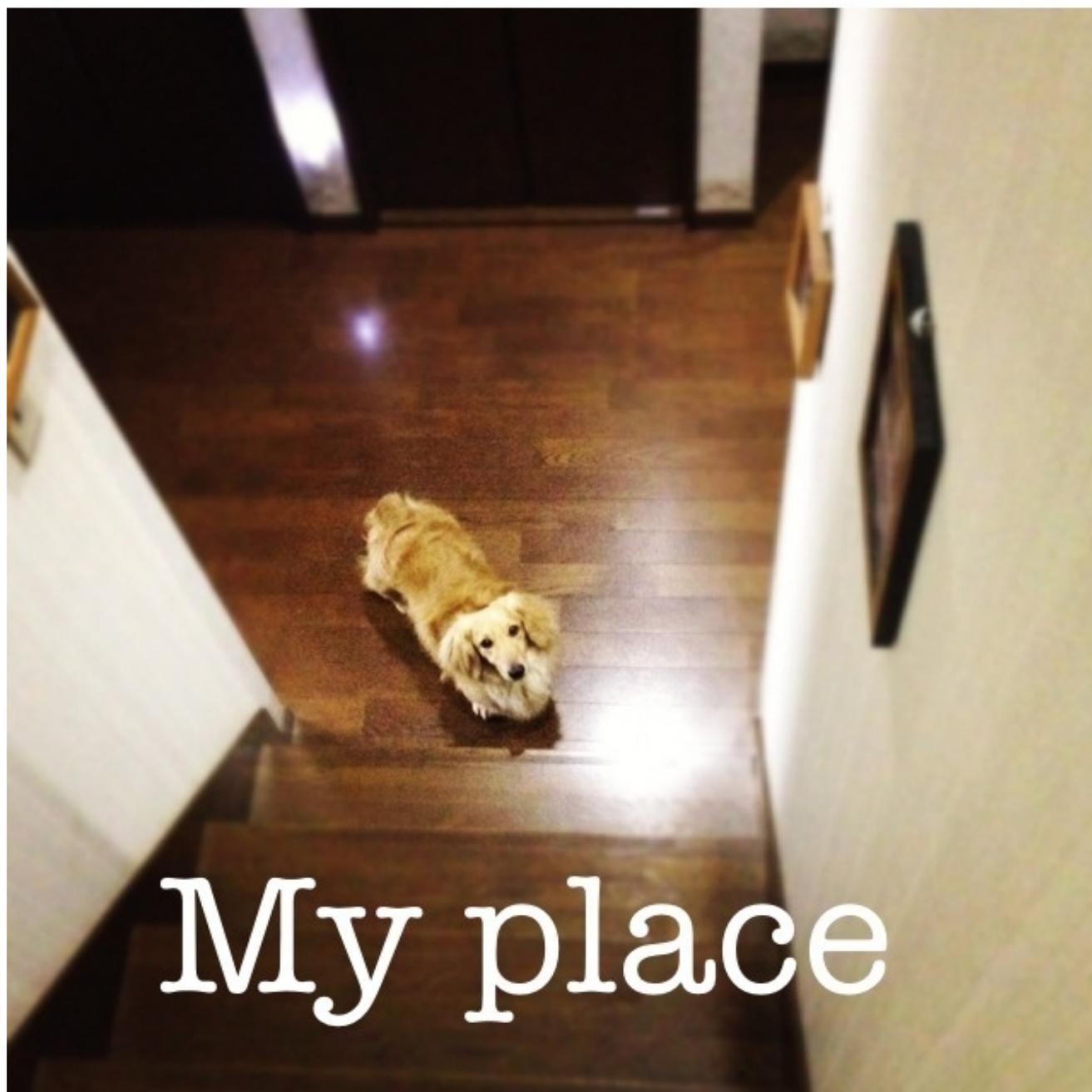
だからうつかしい。

大切なことは量じゃない。
その中に何がつまってるか。
どのくらい本気かが
本質なんだ。





当たり前にしてもらっていることの中に
「愛」があります。



「居場所が無いな」

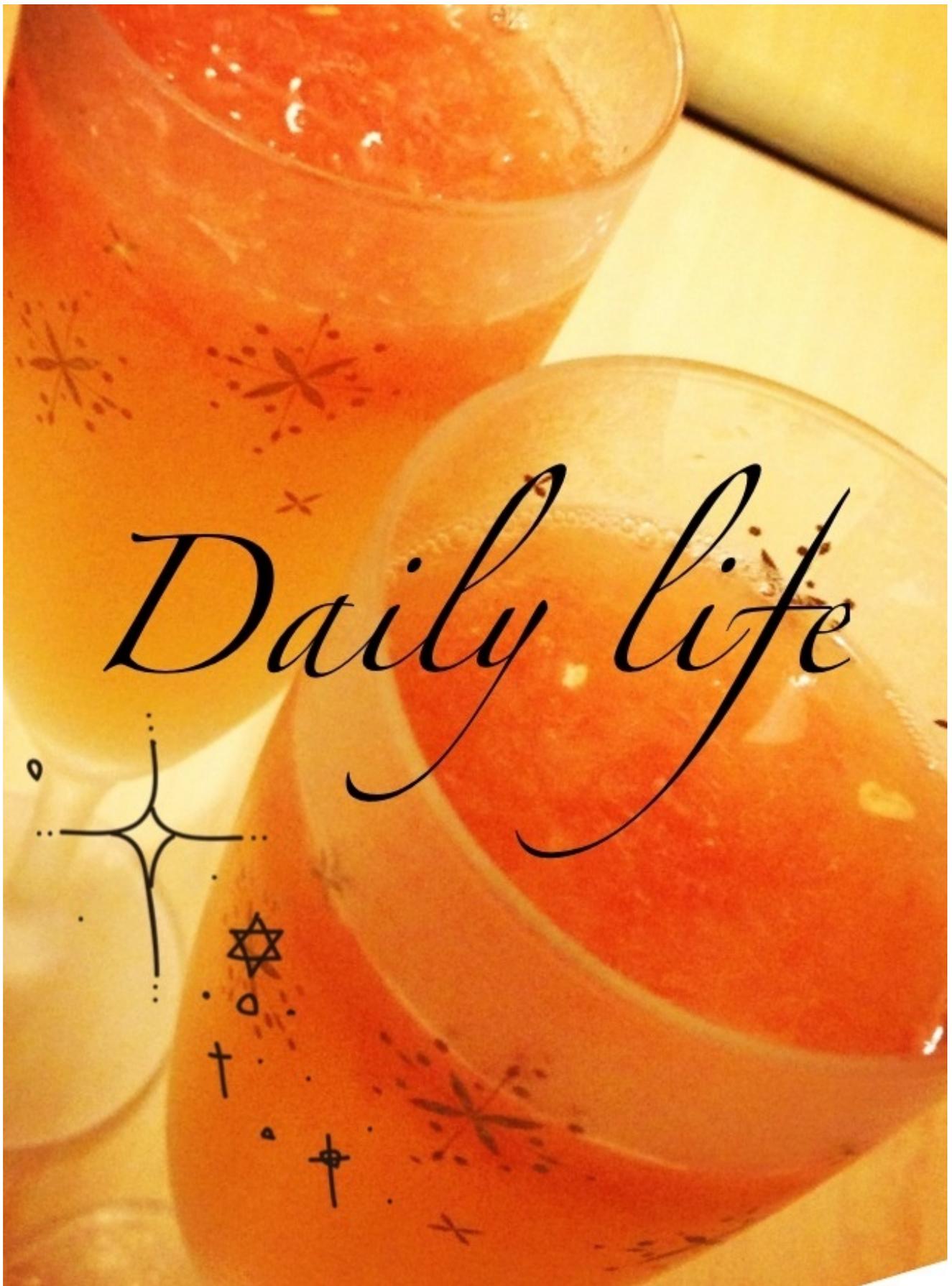
そんなことを言うと

悲しむひとがいるはず。
誰かがどこかで待っている。



久しぶりに帰省すると、
両親が少し小さく見えた。

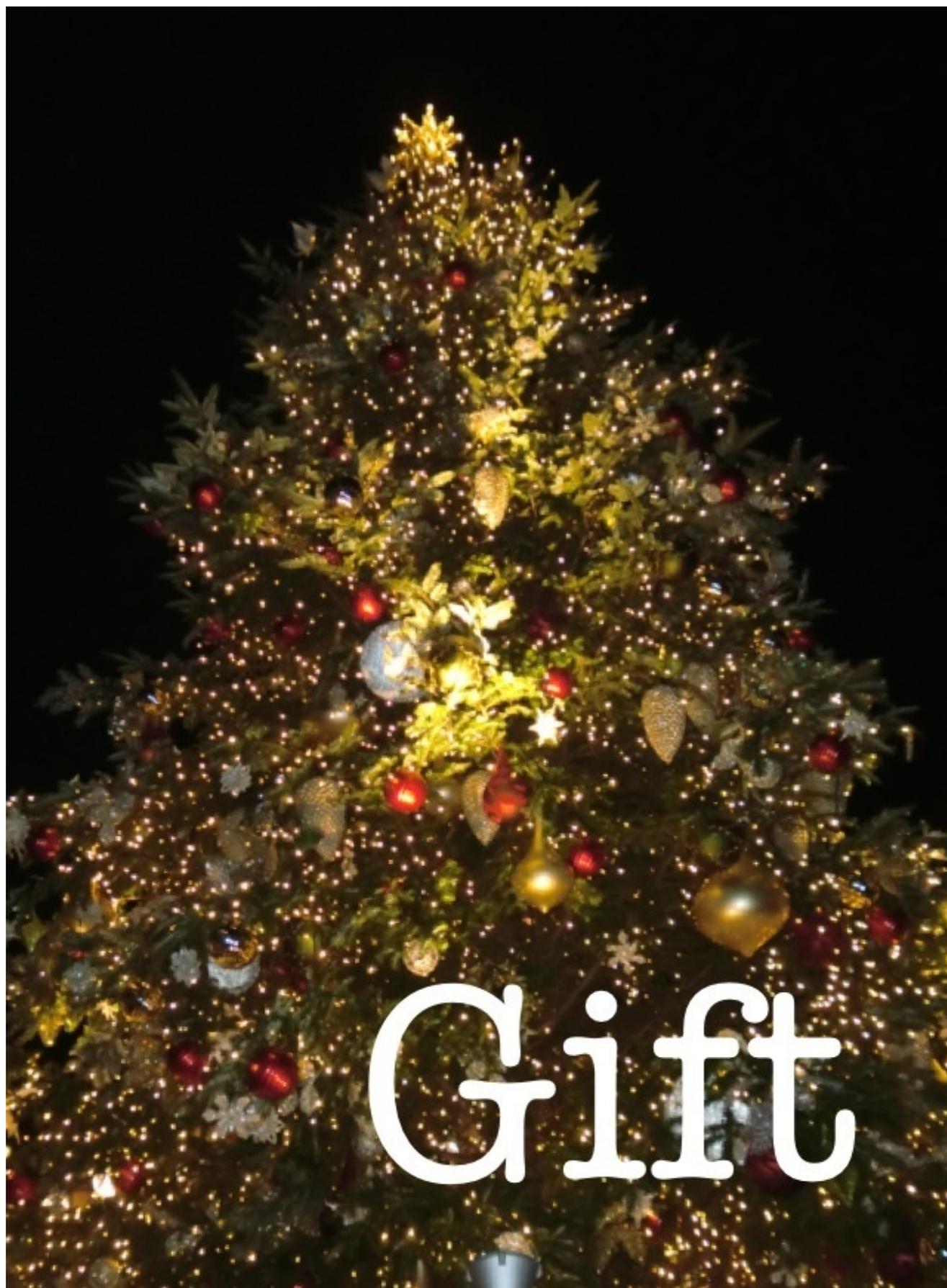
もう若くはないんだな。



グレープフルーツをしぼってのむ
そこに少しリキュールをいれる。

小さなシアワセと

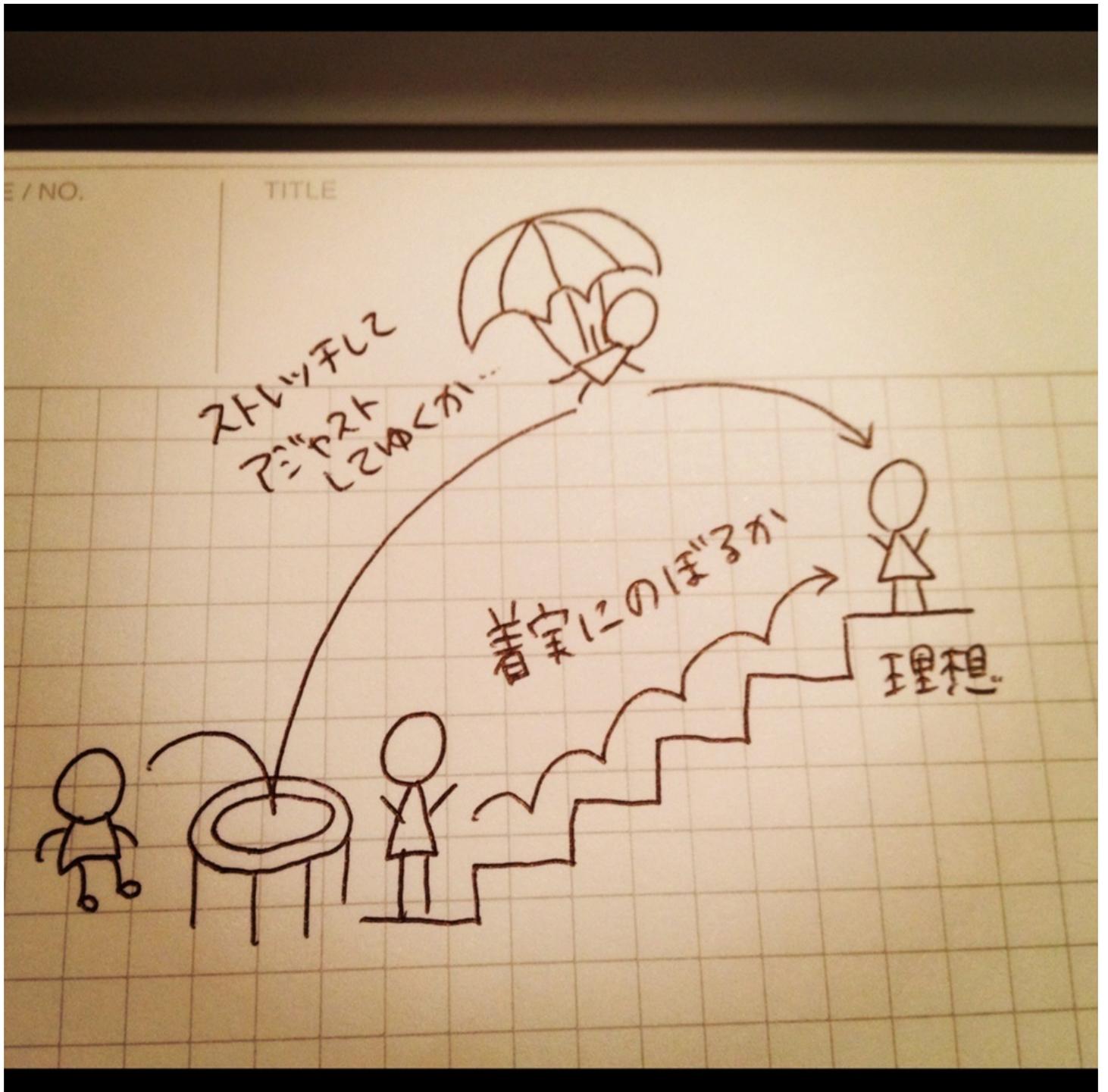
すこしのご褒美。



人にあって、自分になかったり
何かを誰かに取られたって思う事ってある。

そんなとき
「ねたまないこと」
「やかないこと」
「おしまないこと」

そこで器が試されるんじゃないかな。
大きな器にするには努力が必要。



走りながら考えるって難しい。
でも、考える事をやめたらダメだと思う。

Xmasに指輪をかってくれたとき。
わたしよりも、喜んでいる姿を見て
自分自身よりも大切に思っていると言った
ことばの意味を知りました。





悲しいことがあったよ。
嬉しいことがあったよ。
あなたのこと信じてるよ。

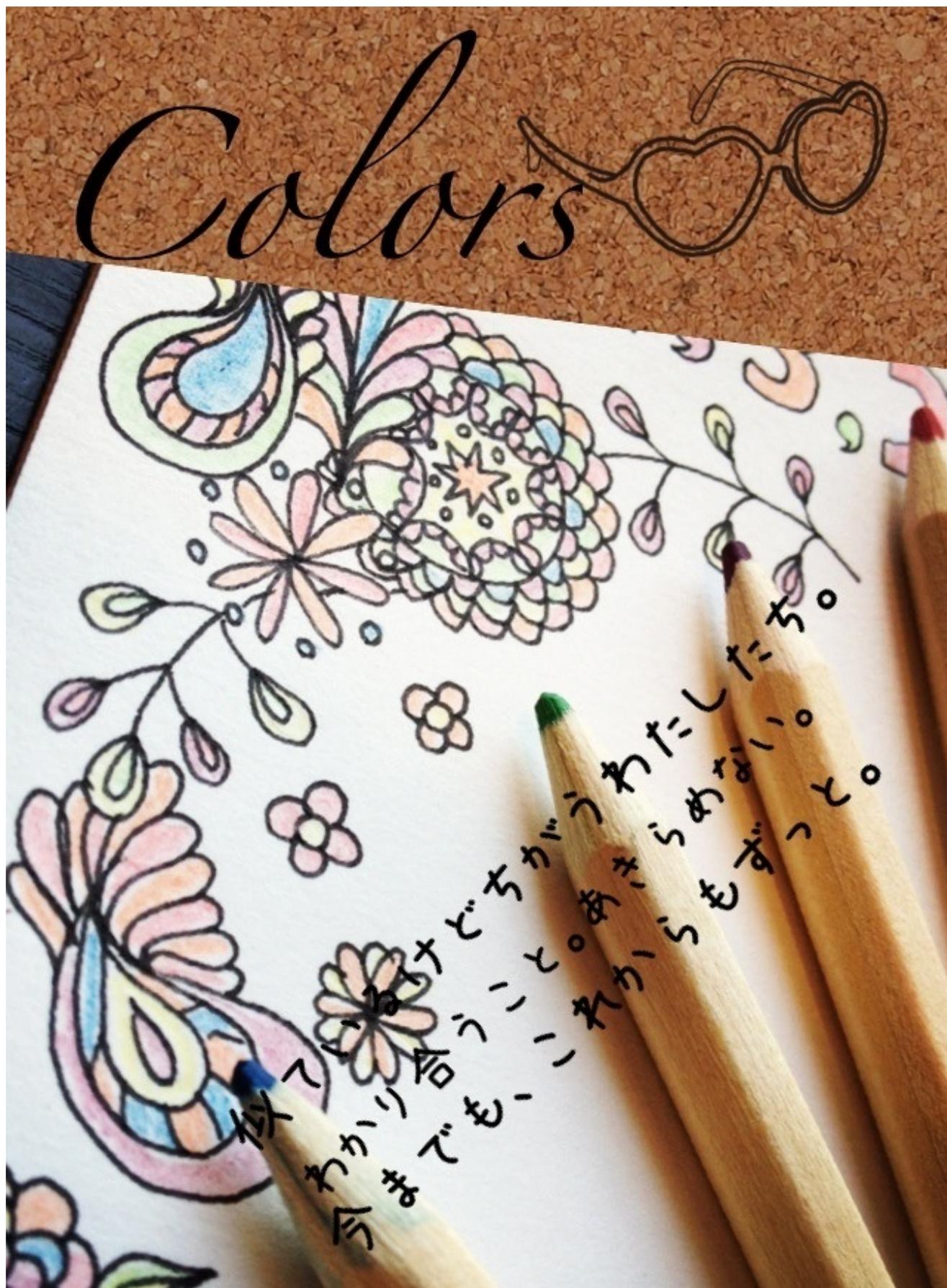
ありがとう。



「ありがとう」をあなどってはいけない。
「ごめんなさい」と「ありがとう」が
魔法の言葉だから。



誰かを深く信じることは
自分を自由にする。



分かれ合う事を諦めない事。



自分の力でどうにかできないことを悩むのはやめました。
自分ができること。

そこに一生懸命になればいいんじゃないかな。





人に嘘をつかないこと。
じぶんを偽らないこと。



パソコンも携帯もきって、音楽だけ。
電気を消して、キャンドルを灯す。
ゆっくり、ゆっくり夜がふけていく。



ふわふわのわたがし。
もふもふの夢。



虹のふもとに、シアワセがあるっていう。

みなさんに、シアワセが降り注ぎますように。

シアワセのカタチ

<http://p.booklog.jp/book/66733>

著者 : yumix0513

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/yumix0513/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/66733>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/66733>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ